

函館の魅力「中吊り」に

慶大研究室 市電車内に「ギャラリー」



加藤文俊・慶應大学環境情報学部准教授の研究
室のゼミ生ら約二十人が
今年九月末、「市電が見
える」「市電から見える」
をキーワードに函館の市
電沿線を中心歩いてマ
チの魅力を探るフィール
ドワークを実施。その成
果を十九枚の中吊り広告
の形式にまとめた。加藤
准教授の研究室は今年七
月には神奈川県の江ノ電
で同様の試みを行ってい
る。

市電沿線で見つけた函館の魅力を市電の中
で中吊り広告のスタイルで紹介する「中吊り
ギャラリー」が十九日から始まった。
(志村治)

広告形式で19枚

授は「地域で暮らしてい
ること、気付いたことを
地元の人たちにも紹介し
たい」と話している。
ギャラリーは十一月二
日まで市電の530号
で。一日五、六回運行す
る。中吊り広告の形で函館の
魅力を伝えるギャラリー